

TAP JAPAN OPEN 2022 中止報告書
2022.05.5



一般社団法人日本障がい者立位テニス協会
TAP JAPAN OPEN 2022大会実行委員会

開催概要

日 時：2022（令和4）年5月27日（金）～29日（日）
事前練習日：5月25日（水）・26日（木）

場 所：成田市中台運動公園テニスコート（千葉県成田市中台5-2）
24日のみ雨天予備会場：
Ken'sインドアテニススクール成田（千葉県成田市ウィング土屋156-2）

主 催：一般社団法人日本障がい者立位テニス協会（JASTA）
TAP JAPAN OPEN 2022大会実行委員会

後 援：（予定）※事前に相談していたが正式に後援申請する前に中止決定
公益財団法人日本テニス協会・千葉県・成田市・成田市教育委員会

協 賛：タムラクリエイト株式会社
（以下予定）※協賛依頼を差し上げていたが正式な協賛申し込みを受ける前に中止決定
テルモ株式会社・インフォテック・サービス株式会社・BNPパリバ・グループ
・ヨネックス株式会社・株式会社キモニー・日本工学院八王子専門学校 など

協 力：（予定）※事前に相談し了解を得ていたが正式に協力申請する前に中止決定
日本女子テニス連盟千葉県支部

<大会要項より一部掲載>

参加資格：身体障害者手帳を保有、肢体に障がいがある型で、大会期間の3日間とも参加出来る方
（四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形）

カテゴリー：A1・A・B

参加費：7,000円

競技種目：シングルス

競技方法：カテゴリーA1・A・B

申込締切：2020（令和2）年4月15日（水）

推奨ホテル：センターホテル成田2R51、センターホテル成田1、リッチモンドホテル
日本人選手は各自予約、海外選手は希望があれば大会事務局で予約代行を行うこととした

募集人数：40名
2022（令和4）年3月1日に大会要項をリリースし、出場申し込みを受け付けた。
大会中止決定までに、日本人選手4名のエントリーがあった。

中止決定：2022（令和4）年3月20日（日）
関係各所へメールにて中止決定の連絡済み

中止決定の経緯と理由

2022（令和4）年2月10日（木）

感染症に対する日本政府の水際政策として、新規外国人の入国に規制が続いているため、大会実行委員会で、大会を中止する場合の判断基準について検討開始。

2022（令和4）年2月15日（火）

大会を中止する場合の判断基準を決定。大会約2ヶ月前大会となる3月20日の段階で、新規外国人の入国に際し、何らかの規制が継続される場合は大会を中止することで意見が一致。大会会場となる成田市とKen's インドアテニススクール成田の了解を得る。関係各所へメールで通知するほか、ウェブサイトの大会専用ページに掲載することを決める。協賛依頼をお願いしていた殆どの企業、団体様より、協賛の決定は3月20日以降に判断したいとの返答をいただく。タムラクリエイト株式会社様のみ、協賛を正式に決定頂いた。大会実行委員会では、後援申請や出費を伴う準備は3月20日以降に行うこととした。いざ実施できると決まった時に、一気に動き出す必要があるため、下準備は進めていたが、そこで発生する人的経費は支払わなくて済む大会事務局内での作業に限定。できる限り対外的に支払い義務が発生することの無いように配慮した。

2022（令和4）年3月1日（火）

JASTAのウェブサイト内に大会専用ページを設け、要項をリリース、出場申し込みの受付開始。この時、大会開催可否に関しての基本方針（3月20日に判断する旨）を合わせて公開。

2022（令和4）年3月18日（金）

日本政府の水際対策が少しずつ緩和されるが、この日以降も大会実行委員会が定めた基準までは緩和されない。判断日を休日の日曜日に設定していたため、その前の営業日である金曜のうちに、関係各所へ20日に中止決定を公開する旨を通知。理解を得る。

2022（令和4）年3月20日（日）

大会実行委員会で定めた大会を中止する条件に当てはまることが確定。したがって、本大会は開催中止が決定された。関係各所に中止決定通知をメールで行う。順次、JASTAの大会専用webページや各SNSにも中止決定を掲載。

2022（令和4）年5月5日（木）

収支報告含む中止報告書を関係各所へメール添付で配信、ウェブサイトの大会専用ページに掲載。

次回開催

2025（令和7）年5月にTAP JAPAN OPEN 2025として開催予定、今大会と同じ会場を希望
（成田市に提示済み）

なぜ次回は2025年なのか

以下は決定事項ではないが、コロナ禍前から海外の主要メンバーとしていた会話の中での話。

この競技はパラリンピックの正式種目入りも目指しているため、パラリンピックが開催される年は、その開催前のムーブメントに乗って開催国にて立位テニスの国際大会開催するのが良い。国際的に競技の存在をアピールするチャンスとなる。過去には、2016年にリオデジャネイロでオリパラ開催された年に、その開催

前にブラジルにて立位テニス競技の国際大会が実施された。この考えに基づいて、日本では東京2020と同年にアジアオセアニア初の立位テニス国際大会を計画（感染症のため中止）した。延期されたTOKYO2020が無観客で実施された2021年には、まだ感染症の影響が色濃いことが想定されたため、日本での国際大会はもう一年先延ばしにして2022年に設定したが、今回も感染症の影響で中止となった。感染症などの影響が治れば、本来に戻り、2024年のパリでのオリパラ開催年は、フランスでの国際大会の開催が計画される場合、他国はそれを優先すべきと考える。

この競技は、国際的にここ10年で大きく成長を遂げているものの、競技者は存在しても、統括的な競技団体が確立していない国もある。国際大会の出場に当たっても、団体や国の代表として派遣されるケースも稀にあるが、殆どが当面は各自が自己負担で遠征する形となっている。

この現状では、国際大会を頻度高く開催しても、全てに参加できる選手はいない。国際大会を計画する際も、他国の国際大会の計画と擦り合わせて、間隔が十分に開くように計画されるべきと考える。現状では、世界中で計画される国際大会同士は3ヶ月の間隔を開けるくらいが良いと思われる。（大会エントリー期間が重複すると選手を食い合う事になる）年間で最大4トーナメント。できるだけ近い国や同じくにはなく、離れた場所での開催が望ましい。

日本での立位テニス競技の国際大会は、一社）日本障がい者立位テニス協会（JASTA）が主催する。JASTAでは、他に地区大会や全日本大会も主催している。当面は日本での国際大会は、3年に一度の頻度で計画予定。海外でも、これまで計画されていなかった国でトーナメントが計画されるようになり、現状ではバランス的にも、これ以上頻度を高くする必要はないと考えている。

このようなことから、JASTAでは次回の日本での国際大会は2025年を設定した。その3年後、次の2028年大会は、ちょうどJASTAの法人格取得10周年となるため、記念大会として計画する予定である。

いつれ、この競技が成熟したら、毎年固定の地で開催されるITFのグランドスラムのように、代表選手が展戦できる国際大会が根付いてゆくことだろう。

大会準備記録

※ ()内人数のうち、+1となっているのは特別顧問

年	月	日	内容	場所	出席人数 ()内は JASTA
20	4	6	TAP JAPAN OPEN 2020中止打ち合わせと同時に、TAP JAPAN OPEN 2022大会の実施希望日程を提示、了承を得る	成田市役所	4 (2)
21	10	23	WJP Challenge Tennis会場を視察、TAP JAPAN OPEN 2022についてPR	吉田記念テニス研修センター	100 (4)
		24	第2回全日本障がい者立位テニス選手権大会にてTAP JAPAN OPEN 2022についてPR	中台運動公園	150 (40)
	11	26	関係各所へ協賛検討依頼開始	メールのみ	
	11	29	成田市へ優先予約申請書を送付	メールのみ	
	12	2	マイクロバス送迎の交渉、見積もり依頼	メールのみ	
22	1	中	企画書、予算書、ポスター、チラシ案作成開始		
	2	10	大会実行委員会で大会中止判断基準について打ち合わせ	メールと電話	
	2	15	成田市より中台運動公園の利用確定連絡（メールにて）を受ける。開催日と利用できる面数が正式に確定したので大会要項案と予算書のブラッシュアップ開始 企画書第1稿をリリース、関係各所へ送付し協力、協賛を正式に依頼、同時に大会中止の場合の判断基準も通知、JASTAのウェブサイト内に大会専用ページを設けて公開	メールとウェブサイト SNS	
		16	大会推奨ホテル視察、予約交渉	成田市内	4 (2)
		28	ホテルとの予約交渉完了	メールのみ	
	3	1	JASTAホームページ内の大会専用ページで要項と申込書をアップし、出場申し込み受付開始	メールとウェブサイト SNS	
		18	大会会場となる成田市とタムラクリエイト様に大会中止の方針を報告、了承を得る	電話	
	3	20	大会実行委員会にて大会中止を正式決定、各所へ通知 次回大会は2025年5月予定であることも通知	メールとウェブサイト SNS	
		21	ホテルへ全予約キャンセル連絡	メールと電話	
	4	21	収支を含む中止報告書をリリース、JASTAのウェブサイト内の大会専用ページで公開	ウェブサイト・メール	

対外的な交渉を含む内容のみ記載、大会事務局内の作業、会議については記載していません。

収支最終報告

収入の部

2022（令和4）年4月21日

項目	金額	備考
参加費	0	7000円/一人 大会中止のため集金せず
協賛金※	150000	1社
寄付	0	
大会協力金	0	
JASTA大会協力金	0	
収入合計	150000	

支出の部

項目	金額	備考
告知バナー制作費	0	中止のため発注せず制作せず
マスキングテープ	0	50mm幅（Bコート用）購入せず
事務用品費	8369	プリンタインク、用紙代
通信費	0	計上せず
会議費	0	計上せず
雑費	330	駐車場代実費
大会名、協賛バナー	0	中止のため作成せず
印刷代	0	中止のため、作成せず
表彰用品	0	中止のため発注せず
レンタル費	0	中止のため発注せず（無線機、テーブル椅子など）
関係者昼食代	0	中止のため発注せず
関係者交通費補助	0	中止のため支払いなし
保険料	0	中止のため加入せず
企画書等制作費	0	計上せず・Space Design Studio arc
交通費	2300	交通費実費
デザイン・版下作成費	0	計上せず・R-WORKS
報告書制作費	0	計上せず・R-WORKS
支出合計	10999	

収入合計	150000	
支出合計	10999	
繰越し金	139001	第3回全日本大会及び立位テニスの普及発展に使用することを了承済み